

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No. 1084 (H.28)No. 1084

事務事業名	環境対策一般経費		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	環境対策室	海野 隆広	

会計区分	事業コード	253001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	環境対策費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 環境対策費	環境対策一般経費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	1	良好な地域環境づくり
	施策	1	環境保全
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
大気や河川などの広い範囲から地域などの身近な範囲まで良好な生活環境を確保します。 また、市民への環境保全に対する意識の高揚を図ることで良好な環境づくりが期待できます。
事業内容
・工場・事業所への公害防止関係法令や公害防止協定の遵守についての啓発 ・市民、事業所、行政全体でCO2消費量の削減や省エネルギーの取り組み ・環境施策の推進・啓発の取り組み ・クリーン大作戦による環境美化活動

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・快適環境審議会開催 3回 105千円 ・交通騒音常時監視業務、大気水質等調査業務委託 1036千円 ・急速充電器保守点検委託料 431千円 ・環境行事9回 (クリーン大作戦など)	・快適環境審議会開催 3回 126千円 ・交通騒音常時監視業務、大気水質等の環境調査 2110千円 ・急速充電器保守点検委託料 431千円 ・環境行事 ・簡易水質調査(任意) 12回 75千円	・大気水質等の環境調査・環境行事 ・地球温暖化防止対策	・大気水質等の環境調査・環境行事 ・地球温暖化防止対策	・大気水質等の環境調査・環境行事 ・地球温暖化防止対策

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		1,837千円		2,745千円	2,745千円	2,745千円	2,745千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(基金繰入金等)		1,384		1,275	1,275	1,275	1,275
一般財源	0	453	0	1,470	1,470	1,470	1,470
人工数							
職員		1.00人		1.64人			
臨時職員等		0.58人		0.18人			
②概算人件費	0千円	8,486千円	0千円	12,606千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	10,323千円	0千円	15,351千円	2,745千円	2,745千円	2,745千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)

平成27年度より快適環境審議会を開催し、環境基本計画にあたる第三次なばり快適環境プランの策定の審議を行い、平成29年3月に策定することができました。また、河川等への油の流出事故においては、拡散の防止や原因究明等において迅速な対応を実施することが出来ました。毎月の河川の水質調査(任意)、その他環境状況を調査を実施し、対応することにより、生活環境の保全を図ることができました。

平成28年度は伊勢志摩サミットのおもてなしイベントにも位置付けて名張クリーン大作戦2016において、6千人の参加を得るなど地域や市民団体と協働して市内の環境美化を図っています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)		
条例や関係法令の適正な運用及び公害防止協定の見直し等により、問題解決を図ります。第三次なばり快適環境プランの環境像を実現するために、生活環境の保全、自然環境の保全のための環境状況の調査、地域と協働した取組による環境美化を実施していきます。		
6. 事務事業の取組に関する市の計画		
第三次なばり快適環境プラン		